

海女さんをめぐることば

皇學館大学 齋藤 平

1 海女さんの仕事とことば

( a ) 漁への行き方  
 フナド ( 船人 )                      トマエ  
 カチド ( 徒人 )

出漁	
◻ ◆ ○ / イ イ イ ソ ソ ソ ド ニ ヘ イ イ イ ク ク ク	
◆	石鏡
/	国崎
○	相差
/	畔蛸
/	千賀
◻	和具

× ア マ ニ イ ク

( b ) 漁の回数

漁の回数			
ハイ	カシラ	クラ	
○		○	石鏡
	○	○	国崎
	○		相差
		○	畔蛸
NA			千賀
	○	○	和具

クラ 「ヒトクラ イテキタ」

『色葉字類抄』度 クラ 将員也  
 『名語記』下臈の一度二度とらぶぐき轉を、  
 ひとくら ふたくらとらくる詞あり ゆくお  
 る敷。員数をしる心なり

ウェット スーツ	
◆●／ クダス ロンビポ ンコチジ ボチャ ン	
／	石鏡
●	国崎
●	相差
／	畔蛸
(●)	千賀
◆	和具

( e ) ウェットスーツ

フナドの道具		
命綱	滑車	
＼	／	石鏡
＼	／	国崎
●	◆	相差
＼	／	畔蛸
NA	NA	千賀
●	◆	和具

( d ) フナドの滑車・命綱

潮の干満		
干潮	満潮	
		△○／ ソイミ コリヒ パイガ リミチ
△	／	石鏡
△	／	国崎
△	○	相差
△	／	畔蛸
△	／	千賀
△	NA	和具

( c ) 漁のタイミング  
シオトキ(潮時)

# 3

感謝	
◆ / ヨシタキン・オーキニ	
/	石鏡
◆	国崎
/	相差
/	畔蛸
/	千賀
◆	和具

(i) あいさつ

コロケーション			
ナマコ	サザエ	アワビ	● / おひろす
/	/	●	石鏡
/	/	●	国崎
/	/	●	相差
/	/	●	畔蛸
/	/	NA	千賀
/	/	●	和具

(h) コロケーション

サザエ	アワビ	
◇ ◆ 一 / ササンザザイ	◇ ◆ / オンオービ	
◆	◇	石鏡
/	/	国崎
◆	◆	相差
/	/	畔蛸
◇	/	千賀
一	◆	和具

(g) 獲物

鉤ノミ	
△ ◆ / アワンビオコシ	
◆	石鏡
◆	国崎
/	相差
/	畔蛸
△	千賀
△	和具

(f) 鉤ノミ

或へんてへれて ありがとう  
 ↑ 田シタ ↑ 田シタ

アワビハナジシ awabi o:bi  
 河和ハナジシ kawawa ko:wa  
 釜海ハナジシ awaumi>o:umi>o:mi

よした【感動詞】 1) 有難う 礼を述べる言葉 (志鳥 (国崎)) 2) ほめる言葉 よくした (志 (甲賀)) 3) 承知した [会話] <sup>1)</sup> ヨシタ言うのは おおきん (有難う) 有難う言うのを ヨシタ言うのなあ (です)。男の人らな (が) よお使うわな (よく使います)、漁師の人らな (が) ヨシタ言うてな、有難お言う事をな。物もろて (貰らつて) 男の人ら、ヨシタ言うしなあ、女は ヨシタエエ言うてな、有難お御座居ます、今し (今) では言うのを それを ヨシタエエ言うの (のです)。がっこ (学校) の 成績やどけな (などが) ええと (よいと) よお (よく) 出来た言う事も有るしなあ (有ります)。

よしたええ 有難う 女性言葉 よした参照 (志) [会話] ヨシタエエ言うて、有難う言う事を ヨシタエエ言うて。おおきんえ (有難う) 言う人も有るし (有ります)。よけもろて (沢山貰つて) ヨシタエエ言うて。なんやかや (何彼) もろたり (貰つたり) してもろたり すると、礼言うのを 有難お言うのを ヨシタエエ言うて。仕事してもろて (もらつて) こげん (こんなに) よけしてもろて (沢山してもらつて) ヨシタエエ言うて。ヨシタ (よくした) うぐる (土龍) よお (よく) 持ってくれた言うて、畑の うぐるな でんぐりかえして (ひっくり返して) 有ると 打つん (畑耕すのに) やいこおて ええんてや (柔かくてよいのです) うぐるな (もぐらが) 持ったあた (後は)、そやもんで (それで) ヨシタ うぐる よお持ってくれた言うて。そして (そうして) なんやかや 人な (が) 持ってしとると (して居ると) その時も うぐるん (に) 例えて ヨシタ うぐる、持ってくれて 言う時もあんね (有るのです)。

(鍋島泰『和具の方言』による)

## 2 ことばの位相

ことばが種々の事由によつて異なつたすがたを生じている現象を位相という。このような現象は、文法・音韻・語彙について起こるが特に語彙において顕著である。

[表現主体による違い]

- ① 地域などの物理的な差によるもの。(方言)
- ② 性差や年齢差などの生理的な差によるもの。(男性語・女性語・幼児語)
- ③ 職業や階層などの社会的な差によるもの。(農業語・漁業語・武士詞・女房詞)

『国語学大辞典』(東京堂)による)

## 3 地理的差異

婚姻圏

流通 (交易)

意識 倭姫命伝説

平氏 (国崎) ぜんざいと源氏 (相差) ぞうに